



11月の下旬より早生温州の出荷が始まりますので、収穫前の貯蔵病害の防除をお願いします。

また、使用回数と収穫前日数に十分注意を行いましょう。

1. 病害虫防除

対象品種	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用回数	収穫前日数	
					温州	中晩柑
温州みかん	貯蔵病害	ベフラン液剤 25	2,000倍	※2回	前日まで	前日まで
		ベンレート水和剤	4,000倍	4回	前日まで	7日前まで
		ベフトップジンフロアブル	1,500倍	※2回	7日前まで	前日まで
病害虫発生時	ミカンハダニ	コロマイト水和剤	2,000倍	1回	7日前まで	
	ハマキムシ	オリオン水和剤	1,000倍	5回	14日前まで	

※ベフラン液剤とベフトップジンフロアブルは合わせて2回となりますのでご注意ください。

2. ポンカンの着色促進及び浮皮軽減

	時 期	薬剤及び希釈倍数
1回目	10月上旬～中旬 (2～3分着色時)	サルファースolz 400倍
		加用 ジューシーカル 800倍
2回目	10月中～11月上旬 (5～6分着色時)	サルファースolz 400倍
		加用 ジューシーカル 800倍

3. 河内晩柑の落果防止対策

時 期	薬剤及び希釈倍数
10月中～11月上旬 (1～2分着色時)	マデックEW 2,000倍 + 尿素 500倍

4. デコボン・ポンカンの水腐れ軽減対策

ジベレリン液剤40mlの場合

対象品種	薬剤名	使用濃度	1本当たりの水量	実施時期	収穫前日数
ポンカン	ジベレリン液剤	0.5ppm	400ℓ	着色始期～4分着色期	21日前まで
デコボン	ジベレリン液剤	1ppm	200ℓ	着色終期	7日前まで

5. 施肥

施肥時期	品種名	肥料名	10a当たり施肥量
11月上旬	ポンカン・清見・甘夏・ パール柑・河内晩柑	熊本果樹肥料 10-7-4	2袋
	デコボン	熊本デコボン 8-3-3 又はひのくに果樹 9-3-3	2袋

6. 夏秋梢のせん定

強く伸びた夏芽や秋芽を残しておきますと、樹形の乱れやアブラムシ等の発生を助長します。強い徒長枝を中心に間引き剪定を行いましょう。

ベジ鍋

ベジフル歳時記

冬の語源は「冷ゆ」からきたと一説ではいわれますが、寒さが増すと同時にお鍋が恋しい季節の到来です。家族みんなで、また仲間と大勢で囲みながら食べると会話も弾み、おいしさを共有できることもお鍋の醍醐味(だいごみ)。バリエーションも豊富で、一度にさまざまな食材をバランス良く取れること、食卓の主役でありながら手軽に作れることも魅力です。

11月7日は、一(い)一(い)七(なべ)の語呂合わせから、「鍋の日」とされています。

この日は二十四節気の「立冬」となる場合が多く、日が暮れるのも早くなり、朝夕の冷え込みも実感し始めるころ。まさに温かいお鍋を体が求める時期なのです。毎年恒例でこの日はみんなで集まって、お鍋パーティーをするのもいいですね。

地域や家庭ごとに定番の具や味付けも異なるお鍋は、毎日食べなくても飽きないくらいたくさん種類がありますが、おうちで楽し

むなら不足しがちな野菜が無理なく摂取できる「ベジ鍋」がおすすめ。野菜をたっぷり入れてヘルシーな鍋に変化させましょう。

ベジ鍋の利点は、加熱することがかさが減り不足しがちな野菜をたくさん食べられること、スープまでいただくことで溶け出た栄養素も無駄なく取れること、野菜の彩りで食欲が増すこと、野菜が持つ素材のうま味で薄味でも満足感が得られること、さらに旬の野菜を使えばお財布にも優しいお助けメニューに。

冬に旬を迎える野菜は寒さで甘さや栄養価が高まる葉野菜や根菜です。消化を助けてくれるダイコン、カブ、ニンジン、ゴボウ。ビタミン類が豊富で風邪予防に効果的なセリ、ホウレンソウ、水菜、シュンギク、ハクサイ、ニラ。そして体を温め免疫力向上に役立つネギ、ニンニク、ショウガなどの香味野菜。旬の野菜はその季節に私たちが必要とする成分を含んでいて、体調を整えてくれます。

シニア野菜ソムリエ ● KAORU



施設栽培における省エネ対策



近年、原油価格が高止まりし、冬場の重油価格は、1リットル当たり90円代を超えてきております。このことが、農家の経営面でも大きなウエイトを占めています。そこで、我が家でも出来ることをもう一度、見直していただければと思います。

1、ハウスの気密性を高める。

- (1)ビニールの破れや隙間を無くす。
- (2)出入り口の内外にフィルムを張り、冷氣

の流入を防ぐ。

- (3)谷部、サイドは、妻面から1.5m程度重ね代をとって、風の侵入を防ぐ。

2、多重被覆を導入する。

- (1)可能な限り多重被覆を導入する。
- (2)カーテンが変質したり、破れたりしている場合は交換又は補修する。
- (3)寡日照、高温、多湿対策として日中に換気や病害虫防除を行う。

3、夜間は変温管理を行う。

- (1)夜間の設定温度は、4段サーモなどを活用した温度管理を行う。

- (2)品質や収量に影響のない設定温度で、管理を行う。

4、暖房効率を高める。

- (1)暖房機の熱交換面を清掃する。
- (2)暖房機のノズルの交換、空気量の調整をする。
- (3)温度センサー位置は生育ステージに合わせる等適切な位置に設置する。
- (4)温風ダクトの配置は、穴の間隔、ダクト間隔を調整する等適正に配置する。
- (5)循環扇等の利用のより、温度ムラを少なくし、過剰暖房を防ぐようにする。

5、栽培管理の工夫を行う。

- (1)整枝、誘引、摘葉等適期管理を行い、採光を図る。
 - (2)品目によって異なるが、夕方適温ぐらいで、ハウスを閉めて保温する。
 - (3)ハウス北側の妻面やサイド部を防寒資材で被覆する。
 - (4)節油のあまり、適温を下回る管理をしない。
- ※収量が上がらなくては意味がない。



灰色かび病について

11月に入り天草管内では主要品目であるカスミソウ、トルコギキョウを中心に花きの出荷が行われております。

今回は冬期の栽培で被害が大きい灰色カビ病についてです。

・発生の特徴

灰色かび病は寄生範囲が広く、ほとんどの植物で発生します。低温多湿を好むので秋口～冬の初め頃の気温がやや低く、湿度の高い、雨が多くて日照が不足しがちな時期に発生が多くなります。発病適温は15℃～20℃で結露時間が長くなると多発し、植物体表面やその付近が結露しやすい環境下で発生しやすい。

・被害症状

花、茎、葉が溶けるように腐り、さらに病気が進行すると灰色のカビに覆われ、同時に灰色がかった粉(胞子)を多量に形成します。花では始め、花卉に水滴がにじんだ様な跡がつき、白い花では赤い斑点、色のついた花では白い斑点が多数生じます。病気が進行すると花が褐色になり腐ってきて、やがて灰色のカビに覆われます。



トルコギキョウ被害



スターチス被害



金魚草被害

・防除方法

灰色カビ病は湿度を好むので水のやりすぎに注意し、なるべく晴天時に行います。そしてハウス内は風通しをよくして十分な換気をします。枯れた部分にも病原菌が残っているので取り除きます。病原菌は害虫の食害跡やしおれた花卉、チッソ過多により軟弱に育った植物組織などから侵入するので害虫を防除したり、肥培管理を適切にすることでも予防できます。殺菌剤ではフルピカフロアブル、ボトキラー水和剤、エムダイファー水和剤、ポリオキシシAL水溶剤等が花き類での登録があり、なるべく同じ剤は使わないようローテーションで1週間～10日おきに散布し予防します。

※農薬散布に薬害などありますので営農センターへお問い合わせ下さい。